

HKS MUFFLER

**HKS LEGAMAX
TRAIL MASTER**

取扱説明書

＜製品番号 31021-AT011＞

3BA-VJA252W

LEGAMAX TRAIL MASTER



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取説品番 E65400-T84050-00
2026年7月10日発行
Ver.No.2-1.0A

HKS MUFFLER

お願い

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は製品を使用する際および自動車に装着する際の注意事項について詳しく記載してあります。

★内容を十分にご理解のうえ、正しくお使いください。

★本書はいつでも確認できるよう車内に保管してください。

もくじ

	ページ
(1) ご使用の前に必ずお読みください - - - - -	3~8
●製品の構成部品図 - - - - -	3
●装着可能自動車と製品仕様 - - - - -	4
(2) 製品についてのご説明 - - - - -	9
●マフラー事前認証制度について - - - - -	10
(3) 使用方法 - - - - -	11
(4) 組付方法 - - - - -	12~14

はじめに確認してください。

★この製品は下記リストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合は、お買上げの販売店までご連絡ください。

★装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で排気もれや故障の原因になる場合がありますので注意してください。

★取付作業手順は12~14ページにそれぞれ記載してあります。

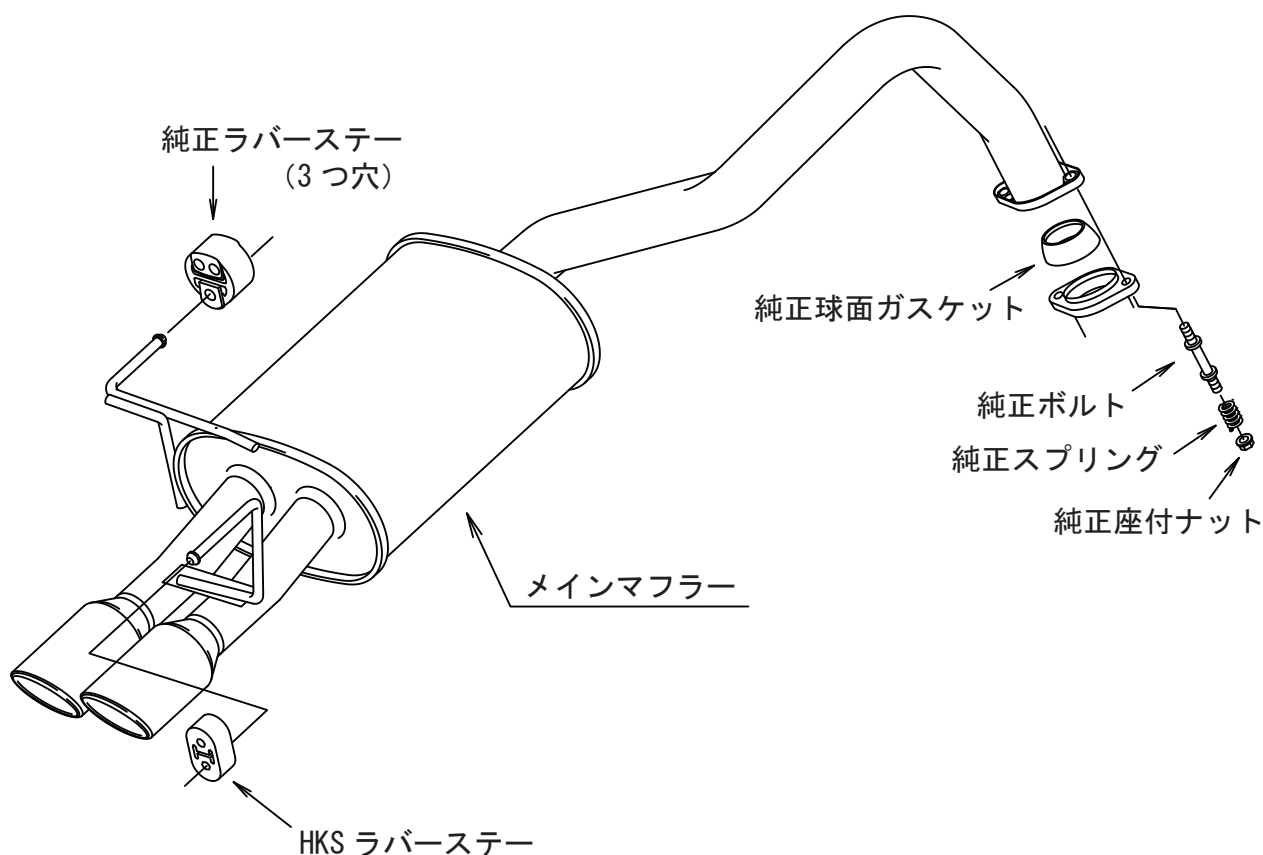
構成部品及び付属品リスト		最小限必要な工具	
☐ メインマフラー	1	めがねレンチ 14mm	1
☐ ラバーステー	1	トルクス E10	1
☐ 取扱説明書	1		
☐ 保証書	1		
☐ ステッカー	1		

HKS MUFFLER

(1) ご使用の前に必ずお読みください
必ずお読みください。

製品の構成部品図

VJA252W LEGAMAX TRAIL MASTER



必ずお読みください。

装着可能自動車と製品仕様

☐ 車 両 : レクサス GX550

☐ 車 両 型 式 : 3BA-VJA252W

☐ 年 式 : 2024/6 ~

(上記の適合情報は、2026年 7月現在の情報です。
最新の車両適合に関しましては、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.hks-power.co.jp/product/exhaust/index.html>)



☐ エ ン ジ ン 型 式 : V35A-FTS

☐ 製 品 名 称 : LEGAMAX TRAIL MASTER

☐ 製 品 番 号 : 31021-AT011

☐ 性能等確認済表示 : JQR10251081
V35At

* 性能等確認済表示については、インターネット上で公開されています。

株式会社 JQR <https://www.jqr.jp/>

☐ 製品装着後の自動車の : 約 215 mm (フロントメンバー)
最低地上高(部位)

☐ 製品装着後の排気管の : 約 275 mm (純正中間サイレンサー)
最低地上高(部位)

* 本製品装着による最低地上高の変化はありません。

●本製品は道路運送車両法保安基準について、国土交通省が定める「マフラー事前認証制度」による確認機関（株式会社 JQR）の確認を受け、認証されています。

本製品には、メインマフラー本体に性能等確認済表示プレートが容易に外れない方法により取付けられています。

また、製品の加工、改造等を行うと保証の対象外となります。

HKS MUFFLER

「安全にご使用いただくために」 必ずお読みください。

●弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を理解してから、本文をお読みください。

本書中のマーク説明（表示と図記号）



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

お願い

この表示を無視して誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。



警告

- 自動車のマフラー交換は本来、設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です。

一酸化炭素中毒防止



警告

- エンジンをアイドリングしたまま、休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
- 排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
風向きにも注意してください。
- マフラーのテールパイプからは一酸化炭素を含む有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中の車両後方に人がいる場合、特に幼児やペットを車両後方に残した場合は一酸化炭素中毒を引き起こすおそれがあります。
エンジンを必ず停止してください。
風向きにも注意してください。

触れると火傷



警告

- エキゾーストマニホールド、触媒コンバータは特に高温になっていて触ると大火傷のおそれがあります。
- エンジン運転中あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒、マフラーは高温になっています。
特に後端のテールパイプは車両外部に露出しており、触れやすいため注意してください。
触ると火傷の危険があります。
- お子様には特に注意してください。またトランクから荷物を出し入れする際、衣服がテールパイプに触れると熱によって損傷するおそれがあります。
停車、駐車する際には周囲の状況を十分に確認してください。

HKS MUFFLER

警告

- エキゾーストマニホールドなどにオイルやブレーキ液をこぼすと火災のおそれがあります。
- 弊社のマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
- 自動車の排気関係の部品は正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、製品が腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社にご相談いただき、製品本来の性能が失われていた場合は弊社の製品に交換してください。腐食を放置すると排気ガスが車体の下部などにもれて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられることがあります。
- 自動車の安全な整備はドライバの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかるうえで必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施してください。
- マフラーの交換は自動車の床下作業が多いので持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。
必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
『2柱式リフト』をお薦めします。
やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は必ずリジットラック（うま、安全スタンド）を併用して安全に作業してください。
車載ジャッキでの作業は危険なので絶対にお止めください。
- マフラー交換は離れた箇所を同時に締付ける作業や重いマフラーを下から支えている作業が多いので、1名で作業すると危険です。
必ず2名以上で行ってください。
- 会期関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず、冷えてから作業してください。手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

警告

- 排気関係の部品は錆びてボルトやナットがゆるみにくいことがあります。スプレー式等の浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

注意

- 弊社のマフラーは耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用条件が悪いと早く腐食して穴があくことがあります。また、石等と接触し、破損して穴があくこともあります。いずれも排気ガスもれの原因となりますので十分に注意してください。
- 弊社のマフラーは自動車メーカー純正の触媒を残して、その後の部分を交換する製品です。触媒を外したり触媒の内部加工を行うと違法であると同時に環境汚染につながります。絶対に行わないでください。
- 取外した純正マフラーを保管する場合は、マフラーは、出来るだけ短く分解して横置きで保管してください。長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です。
- 自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすいものの上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすいものがないことを確認してから停車、駐車してください。
- サーキット走行などの高負荷なスポーツ走行時には、走行条件や車両個体差、熱膨張等の影響により、まれにマフラーのテール部とバンパが干渉する場合があります。干渉によりバンパの表面にキズや変形、または溶損が発生するおそれがあります。そのため、スポーツ走行を行う際は、遮熱テープや遮熱シート等による遮熱対策を必ず実施してください。
なお、これらの現象は使用環境や走行条件に起因するものであり、保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

(2) 製品についてのご説明

- この製品は、国土交通省令で定める道路運送車両の保安基準第30条(騒音防止装置)・第31条(ばい煙、悪臭のあるガス、有毒のあるガス等の発散防止装置)について4ページに挙げる車両に装着された際に、改造申請等の事前手続きは一切必要ありません。
- しかし上記の車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合は、法令等で定められた試験を実施し、改造申請等の手続きが必要となる場合がありますので、詳細はその製品に備え付けの取扱説明書等をお読みください。
- この製品は、標準車における自動車製造メーカー純正部品との交換を対象としたものであり、その他の改造等を行った場合は、その適合性を満たすものではありません。
- この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
 - This product is designed for use in Japan only.
 - It must not be used in any other country.
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この製品及び付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用ください。但し、その場合、自動車が損傷することがありましても弊社は一切、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 法令により、一部車種を除いて国土交通省令で指定を受けた触媒を外した自動車を運行することができません。

マフラーの概要

弊社のマフラーは理想的な排気効率、軽快な音質、優れた耐久性・消音性を確保した高音質なマフラーです。消音器内部の構造は車種、エンジン別に設定し優れたエンジンレスポンスを実現します。また、大口径マフラーにありがちな最低地上高の問題に関しても独自の設計構造により対処しています。



警告

エキゾーストマニホールドやマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場等で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があります。危険です。整備作業は専門の整備工場等にご依頼ください。

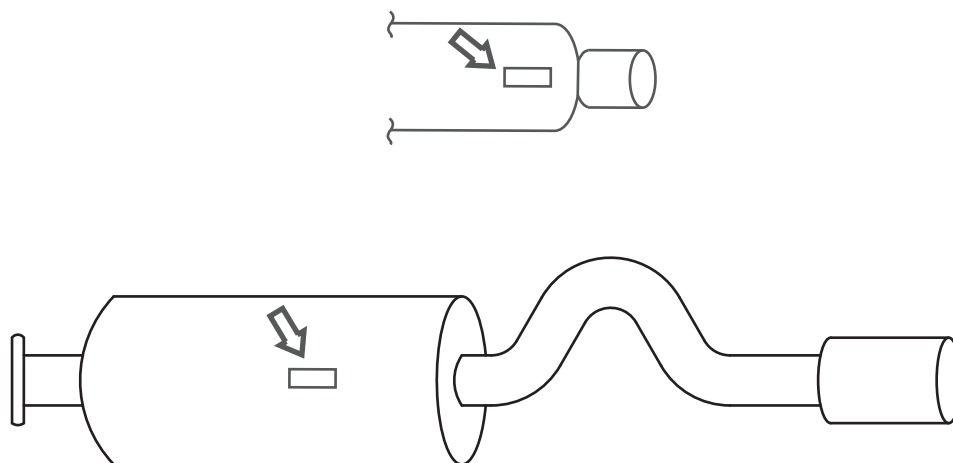
ご使用の前に必ずお読みください。

マフラー事前認証制度について

- 本製品は、確認機関の確認を受け、本書に記載された適合車種に正しく装着された場合は、ご使用に際して改造申請等の手続きは、一切必要ありません。

- 性能等確認済表示は下図に示してあります。

性能等確認済表示プレート位置



メインシェル下側に取付けられています。

★製品に関してのお問い合わせは、お買上げの販売店にお願いいたします。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

(3) 使用方法

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- マフラーは正しい使用方法を守り、本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- 使用の際に、不必要な空ぶかしや長時間のアイドリングはお止めください。消音能力低下や停滞した排気の熱害でエンジンルームの電装品等、補機部品が故障することがあります。



警告

- 弊社製品を装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。

- 塩分や湿気の多い場所での保管や放置は避けてください。機能低下や腐食の原因になります。
- 荷重のかかる使用は破損や変形及び重大な事故に繋がるおそれがありますので避けてください。乗ったり、体重をかけたりしないでください。
- ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途の使用では製品の耐用期間が著しく低下しますのであらかじめご了承ください。
- 不要になった自動車部品を破棄する場合は自動車整備工場や自動車部品解体業などの専門家に相談ください。

(4) 組付方法



警告

作業中の
怪我・火傷

【(1) ご使用の前に】を十分に理解したうえで、実施してください。

作業前に必ずお読みください。

お願い

- 作業の前に自動車と製品の適合を車検証と本書、製品の性能等確認済表示プレートで必ずご確認ください。
- 純正マフラーの取外し作業は自動車メーカーの作業手順通り作業してください。
- 純正品と弊社製品作業手順が異なる場合があります。その場合は、本書に記載された作業手順をよく読んで、理解してから作業してください。
- 製品を装着前及び装着の際に、落としたり、強い衝撃を与えないでください。装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますのでご注意ください。
- フロントパイプ、エキゾーストマニホールド、触媒等を純正部品以外のものと交換している場合、弊社のマフラーとの組合せで、排気効率が著しく改善され、自動車の性能が向上し、場合によってはエンジン等の破損につながる場合があります。事前に、販売店等にご相談のうえで、正しくお使いください。

★作業の方へお願い



注意

- 取外した純正マフラーを保管する場合、マフラーはできるだけ短く分解して横置きで保管していただくよう、お客様に指導してください。長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です。

お願い

作業終了後、本取扱説明書は必ずお客様へ返却してください。

★作業の際に必ず下記の点検をしてください。

- 純正のマフラー吊り下げ用ラバーステーに割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合、純正品の新品に交換してください。

HKS MUFFLER

組付作業手順

※装着作業は専門の整備工場などにご依頼ください。

※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味。

 警告	ラバーステーに潤滑剤等を塗付しないでください。 脱着時に潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取り除いてください。 油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなど重大な事故の原因になります。
---	--

お願い	●ガスケットの再使用はしないでください。
------------	----------------------

1. 『純正部品の取外し』

- (1) 純正の中間パイプ、メインマフラーを自動車メーカーの作業手順書に従って取外してください。

2. 『メインマフラーの仮組付』

- (1) メインマフラー前部フランジに前側から純正ボルトを通し本締めしてください。
メインマフラーを正規の位置に合わせて、メインマフラーに付いている吊り下げ用フック2ヶ所に、純正ラバーステー(3つ穴)と付属のラバーステー(2つ穴)を組付図で確認しながらはめてください。
- (2) 純正中間パイプ後部フランジとメインマフラー前部フランジの間に純正球面ガスケットを挟みメインマフラー前部フランジに取付けた純正ボルトを純正中間パイプ後部フランジへ通し、前側から純正スプリング、純正ナットを取付け仮組付けしてください。

お願い	●球面ガスケット、ボルト、スプリング、ナットは純正品を使用してください。
------------	--------------------------------------

3. 『全体の本組付』

- (1) 各パイプやマフラーの位置関係、自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認し、仮締め付けしてあったボルトとナットを自動車の前側から順に指定トルクで締め付けてください。

$$\left[\begin{array}{ccc} \text{締め付けトルク} & \text{純正ボルト・純正ナット} & T = 43 \text{ N}\cdot\text{m} \text{ (} T = 4.4 \text{ kgf}\cdot\text{m)} \end{array} \right]$$

- (2) テールパイプとバンパの位置関係、クリアランス(15 ~ 20 mm目安)を確認してください。
不具合があった場合、最初から締めなおしてください。クリアランス不足を放置すると異音が出たり、樹脂バンパの場合は熱で溶けることがあります。

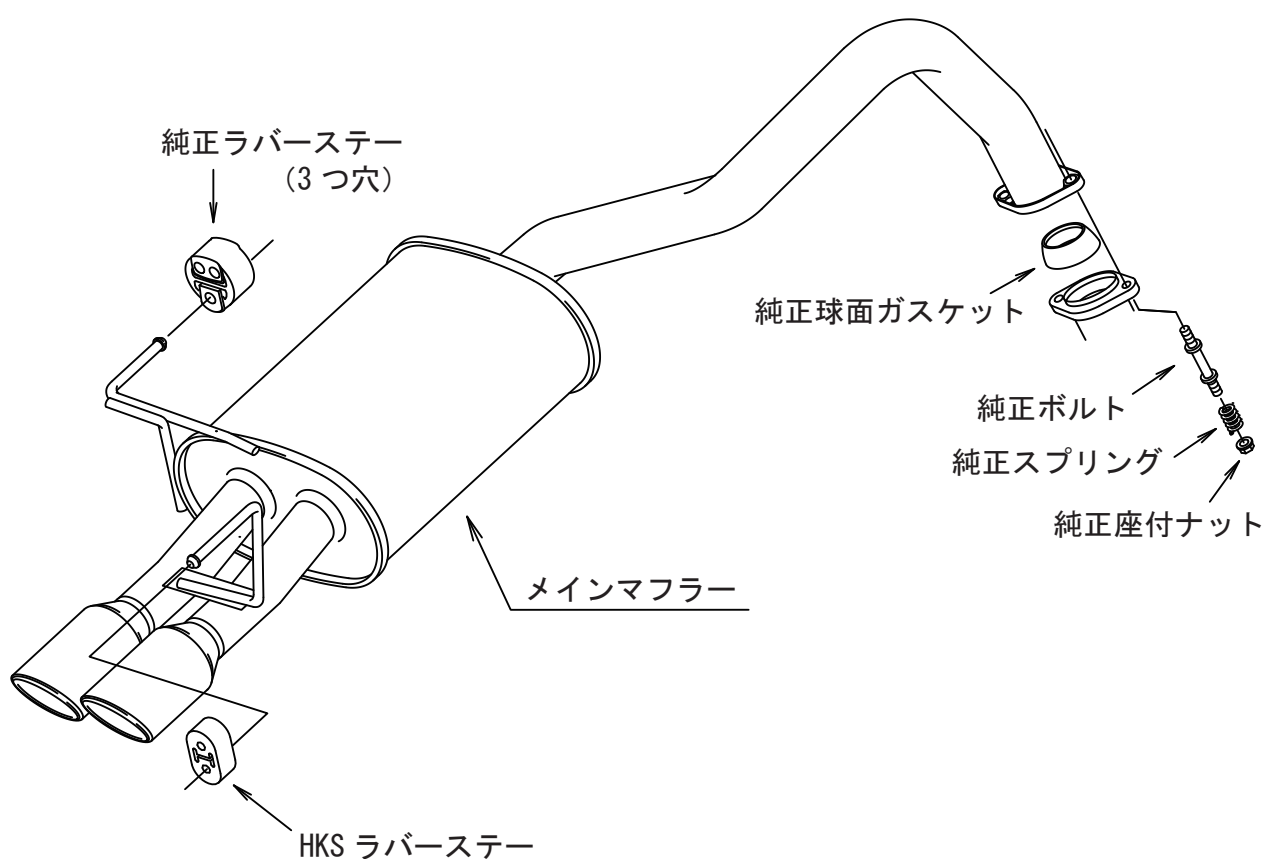
4. 『装着状態の確認』

- (1) 全体の本組付け完了後、再度マフラーを手で揺すり各部のクリアランスを確認してください。
- (2) エンジンを開始して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異音を点検してください。
- (3) 試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異音を点検してください。
- (4) (1) ~ (3) の項目に異常があった場合、最初から装着をやりなおしてください。

組付図

VJA252W

LEGAMAX TRAIL MASTER 組付図



以上で弊社マフラーの装着が完了しました。

本取扱説明書の内容を改めてご確認ください、安全で快適なドライブをお楽しみください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>

HKS Exhaust System

User & Installation Manual



<31021-AT011>

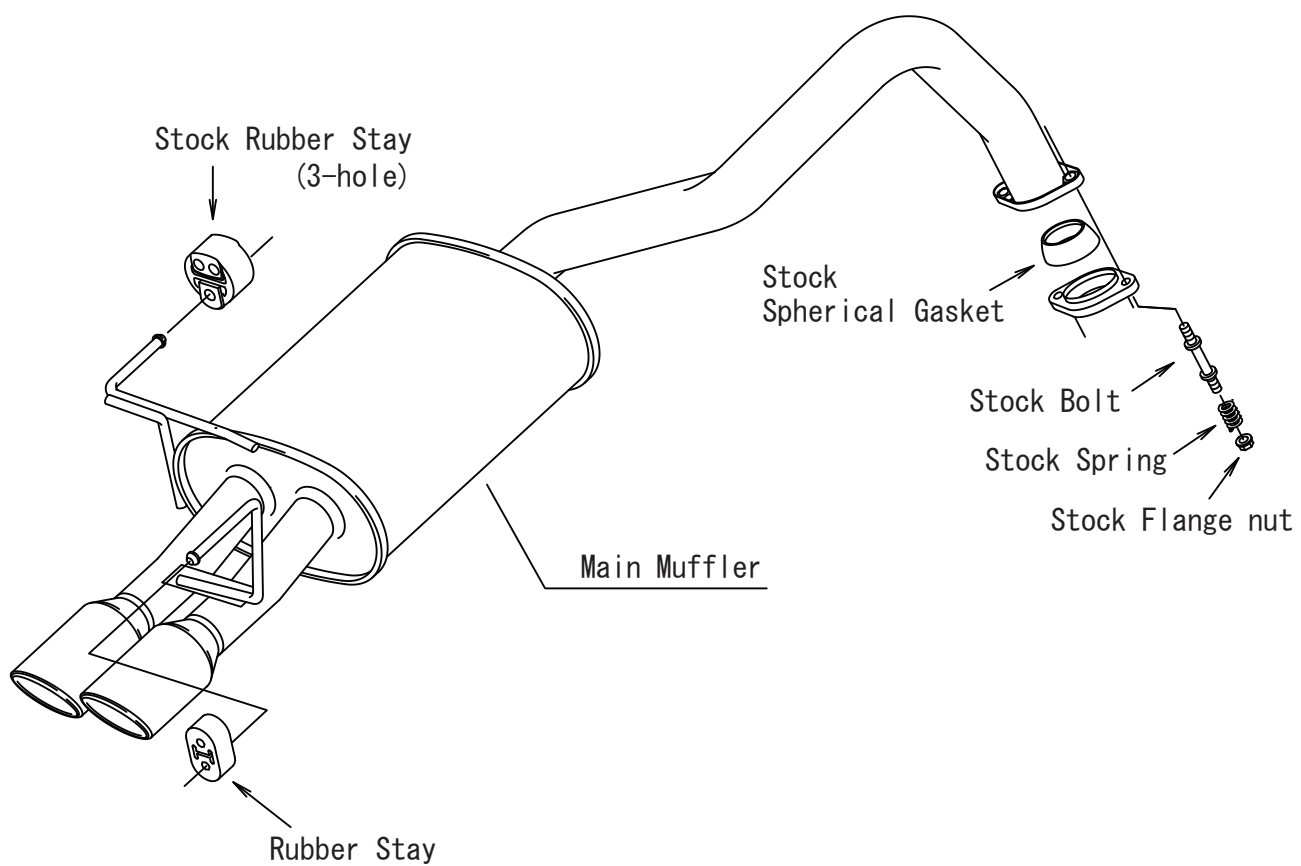
Confirm Before Installation

Part Number : 31021-AT011
Name of Product : LEGAMAX TRAIL MASTER
Application : LEXUS GX550

- ★ Make sure that all the parts listed in the Parts List below are included in the kit.
- ★ Be careful when handling this product; avoid dropping or subjecting it to excessive impact. Failure to do so may result in product damage or improper installation.

	Parts List / Hardware	QT.
①	MAIN MUFFLER	1
②	Rubber Stay	1
③	Manual	1
④	Sticker	1

Part Number : 31021-AT011
Name of Product : LEGAMAX TRAIL MASTER
Application : LEXUS GX550



Thank you for purchasing the HKS Exhaust System.

To ensure proper use of this product, please read this User & Installation Manual carefully before use. Before installing the product on the vehicle, please confirm that all components are included and correct.

Foreword

- Replacement and installation of this product involve potentially hazardous work and must be performed by a qualified technician at a properly equipped automotive service facility. Failure to do so may result in injury or burns. Have this product installed by a qualified automotive service facility.
- Do not perform any illegal modifications on this product, such as cutting the pipe and/or removing the internal components of the muffler.
- Our company shall not bear any responsibility should you, the customer, or a third-party cause a breakdown of the product and its auxiliary product through modification or disassembly, or for damages caused by problems resulting from its misuse.
- This product and its parts may be revised without warning to the customer.
- Due to regulations, it is not legal to drive any vehicle with the catalytic converter or any other emission device removed or modified (Unless specified by local regulations).

Product Precautions

- While the engine is running or immediately after it has been stopped, the exhaust manifold, exhaust pipe, catalytic converter, and muffler become extremely hot. Exercise extreme caution and do not touch any part of the exhaust system that protrudes from the rear of the vehicle. Contact with any part of the exhaust system may result in burns. In addition, contact with the tailpipe while loading or unloading luggage from the trunk may cause clothing to be scorched or melted. When stopping or parking the vehicle, always pay careful attention to the surrounding area to ensure safety.
- Oil or brake fluid spilt on the exhaust manifold could burst into flames.
- Exhaust gases contain toxic substances. There is always a danger of carbon monoxide poisoning if you continue to work in a poorly ventilated garage or warehouse with the engine running. Always turn off the engine and check for adequate ventilation before working in an enclosed space. Be especially careful when pets and children are near the installation site. Take note of wind direction when running a vehicle near people.
- Installation of this product may improve exhaust flow efficiency and increase vehicle performance. Before operating the vehicle, ensure that the brake system is in proper working condition, verify brake performance, and perform a thorough safety inspection of all components on the underside of the vehicle.
- This product is designed to provide sufficient ground clearance when the vehicle is at the standard (factory) ride height. Lowering the vehicle excessively may cause this product to come into contact with the road surface or other obstacles, resulting in damage. Damage to the product may cause exhaust gas leaks.
- Even when the emission control system components are used properly, depending on operating conditions, substances contained in the exhaust gases and corrosion may reduce the muffling performance or cause holes to develop in the product. If this occurs, promptly consult your dealer or a qualified automotive service facility. If this product can no longer maintain its intended performance, replace it with an identical product.
- It is the legal responsibility of the driver to safely upkeep his/her car. Periodic inspection and service is essential for safety and to prevent pollution. Be certain that routine inspections are made as well as periodic inspections and parts replacement if necessary.

- While the product of our company uses carefully selected materials, and the product is manufactured under strict quality control standards in consideration of durability, the product could corrode and develop holes at an unexpectedly early stage if the vehicle is driven under adverse conditions. Moreover, the product could be hit by small rock and other road debris that may damage or cause holes in the product. Please be very careful because this could cause leakage of exhaust gases.
- Removal of the catalytic converter or removal of its internal components is prohibited by law. Such actions contribute to environmental pollution and must never be performed.
- Exhaust components on automobiles sometimes reach very high temperatures. Do not leave the vehicle over dry grass or other flammable materials with the engine running or even after immediately turning off the engine.
This could cause a fire. Please stop or park your vehicle in an area where there are no flammable objects under the vehicle.
- When using your vehicle, refrain from revving or idling the engine for extended periods of time. This could cause deterioration of the sound muffling material in the muffler. The heat from stagnant exhaust could cause breakdowns of electrical parts and auxiliary parts in the engine compartment.
- Do not store or leave vehicle in humid areas or where salt is prevalent. This could cause deterioration and corrosion of parts.
- Avoid applying excessive load, as it may result in damage, deformation, or serious accidents.
Do not stand on, sit on, or otherwise apply body weight to the product.
- Please understand that using your vehicle in various types of races, circuit runs and other special use could markedly lower the durability of the product.
- During high-load sports driving, such as circuit driving, the tail section of the muffler may, in rare cases, come into contact with the bumper due to driving conditions, individual vehicle variations, thermal expansion, and other uncontrollable factors.
Such contact may cause scratches, deformation, or heat damage to the bumper surface.
herefore, when performing sports driving, appropriate heat protection measures, such as heat-resistant tape or heat shielding sheets, must be applied.

Installation Precautions

- When installing this product, always follow the instructions in this manual and perform the installation correctly. Use a torque wrench to tighten all bolts and nuts to the specified (factory-specified) torque, and ensure that they are securely fastened to prevent loosening during vehicle operation.
- The exhaust manifold and catalytic converter may become extremely hot during operation. Contact with hot exhaust system components may result in severe burns. Perform the installation only after the vehicle has cooled sufficiently. To help prevent burns, always wear heat-resistant gloves during installation.
- Rust may make it difficult to loosen the nuts and bolts on the exhaust system. Use a spray-type lubricant and the correct tools to loosen the nuts and bolts and refrain from using excessive force that may cause the nuts and bolts to break. Always use heat-resistant gloves to prevent injury to hands.
- Replacement of exhaust system components often requires working underneath the vehicle. Working under a vehicle that is not properly supported is extremely dangerous. Always use an automotive service lift and perform the work safely. If the use of a floor jack is unavoidable, always support the vehicle with jack stands before beginning work. Never work underneath a vehicle supported only by the vehicle's jack, as this may result in serious injury.
- Replacement of exhaust system components often requires simultaneously tightening fasteners located at different positions and supporting heavy components from underneath. Performing this work alone is dangerous. Always carry out the installation with two or more people.
- When installing the new exhaust system, ensure that adequate clearance is maintained at all locations. Exercise particular care when working near the brake system, fuel lines, drivetrain components, and electrical wiring.

- If you find cracks and other deterioration in the rubber exhaust hangers, replace them with the vehicle manufacturer's new standard parts.
- If the removed stock components are to be stored, always store them in a horizontal position. Never store them in an upright position, as they may tip over and cause injury.
- Due to the vehicle's design, it may be necessary to disassemble certain stock components for removal. Except for certain products, installation generally does not require any modification to the vehicle or exhaust system. For products that require modification, refer to the "Installation Procedure" section.

Installation Procedure



WARNING

Do not apply lubricant, etc. to the rubber stays.
 If lubricant is used during installation or removal, thoroughly clean the stays to remove any oil or grease.
 If any oil or grease remains, the product may become detached while driving, which could result in a serious accident.

NOTE

- Do not reuse the gasket.

1. Removal the Stock parts

- (1) Remove the stock mid pipe and main muffler in accordance with the vehicle manufacturer's repair manual.

2. Temporary Assembly of the Main Muffler

- (1) Insert the stock bolts through the front flange of the main muffler from the front side, then tighten them securely.
 Position the main muffler correctly, then attach the stock rubber stay (3-hole) and the supplied rubber stay (2-hole) to the two hanger hooks on the main muffler, referring to the Installation Diagram.
- (2) Place the stock spherical gasket between the rear flange of the stock mid pipe and the front flange of the main muffler. Insert the stock bolts installed on the front flange of the main muffler through the rear flange of the stock mid pipe, then temporarily install the stock springs and stock nuts from the front side.

NOTE

- Use the stock spherical gasket, bolts, springs, and nuts.

3. Final Assembly

- (1) Check the alignment of each pipe and muffler, the clearances between the exhaust system and the vehicle floor, crossmember, and other surrounding components.
 Ensure that the gasket is properly centered between the flanges. Then, tighten the temporarily installed bolts and nuts to the specified torque, starting from the front of the vehicle and working toward the rear.

{

Tightening torque

Stock Bolt / Stock nut : T= 43 N·m (T= 4.4 kgf·m)

}
- (2) Check the alignment between the tailpipe and the bumper, and verify that the clearance is approximately 15 to 20 mm. If any problem is found, retighten the exhaust system from the beginning of the installation procedure. Insufficient clearance may cause abnormal noise, and in the case of a resin bumper, the bumper may be damaged or melt due to heat.

4. Verify Proper Installation

- (1) After completing the final tightening, move the muffler by hand to confirm that it does not interfere with any surrounding components.
- (2) Start the engine and allow it to reach operating temperature. Then raise the engine speed to approximately 2,500 rpm and inspect each flange for exhaust leaks and all components for abnormal noise.
- (3) Perform a test drive, then recheck each flange for exhaust leaks and inspect all components for abnormal noise.
- (4) If any abnormalities are found during the inspections in steps (1) through (3), repeat the installation procedure from the beginning.



HKS Co., Ltd.

7181 Kitayama, Fujinomiya,

Shizuoka 418-0192, JAPAN

<https://www.hks-power.co.jp/en/>